

トトロ通信

NO. 108

2023年1月号 津山・きびの会通信
〒708-0863 津山市小桁 137-2
Tel 0868-23-0085
川島宅 23-3294、090-7541-5263

新しい年の初めに

理事長 川島和子

新年あけましておめでとうございます。

新年という響きは、とても心地よく私の心に語りかけてきます。

今までのことをリセットして前を向いて進んでいいよと、聞こえてきます。



「津山・きびの会」は、社会に向けて不登校・ひきこもりの問題提起、相談や居場所活動、啓発活動、若者支援活動を創設以来続けてきました。国では、全国ひきこもり家族会連合会（KHJ）の声を受けるかのように社会福祉法の改正がなされてきました。ひきこもり困難者に向けて各地で様々な動きが始まっています。私たちは、2年にわたり市長に向けて要望書を提出してきましたが、行政の力を大きく変えることは、できませんでした。ひきこもり困難者は、希望を失いかけている現状があります。

しかし、3年ほど前から美作大学社会福祉学科と連携しピアサポーターの養成・活動などを進めてきた私たちの前にいる若者は、それぞれの力を開花し、再び新たな「たびだち」に向けて歩き始めている姿が見えます。

また、会では昨年、一昨年と居場所の整備を続けてきました。居場所は、どん底に落ちたと感じている人たちへも温かな包容力を持って迎え入れる居場所でありたいと思っています。ふと、今の幸せを感じられる居場所が沢山あったら、きっと生きていきたいと思うでしょう。人々の温もりで作られられたこの居場所が、幸せを感じられる場として提供できますように祈りを込めます。

新しい年は、新しいスタートの年であります。

「NPO 法人津山・きびの会」15周年記念びあ・マルシェは、地域の人たちと結ばれる出会いの時間になりました。発起人であった大学生、若者さんに感謝の思いです。私たちは、法人として目指すところの活動を今できることから、切れ目なく続けていくことで、幸せを感じる人の輪が大きくなっていくでしょう。

津山・きびの会の活動に参加して

美作大学 社会福祉学科 4年 菅原ゼミ

3年次より、津山・きびの会の活動に参加し、ピアサポーターの方をはじめ、多くの方と交流出来ました。「ピアサポート から はじまる まちづくり」のリーフレット作成や、ぴあカフェの活動の体験をしたことは大きな学びとなりました。

また、11月には、身近な地域住民の方に、津山・きびの会の活動を知ってもらうことを目的に、「ぴあマルシェ」をピアサポーターの方と企画・運営を行いました。実際は、家族や支援者の方々の力が大きく、実現できたと思います。学生企画のさつまいもチップスも好評で、嬉しかったです。

活動を通して、居場所や仲間同士のつながりの大切さや、前向きな気持ちになるための工夫や対処について学ぶことの重要性について考える機会となりました。これまでの学びを活かして、卒業後も頑張っていきたいと思います。2年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

市役所で社会福祉士として働く予定です。彼までの学びを活かしてしていきます。

地元の社会福祉協議会で働きます。これまでに培った力や学びを発揮できるようにがんばります。

卒業後は、社会福祉協議会で働きます。ひきこもりに関する正しい知識を広げたいです。



障害分野で利用者の好きなこと、得意なことを活かした支援をしていきたい

これまでの活動を通してピアサポートの良さ、得意なことを活かすことの素晴らしさを学んだため、それを仕事に活かせる人になるように頑張ります。

自分にあった働き方で働ける場所を探したいです。そのために必要な力や知識を身につけて、色々な体験をしてから、福祉に関係する職業に就職できたら良いなと思っています。